

第74回 東京都民生委員・児童委員大会宣言

新型コロナウイルス感染症に日夜最前線で対応されている医師や看護師の方々をはじめとした医療従事者のみなさま、介護従事者のみなさま、そして子育てを支えてくださっているみなさまに、感謝と敬意を表します。

私たち民生委員・児童委員は、地域において、住民との関わりを途切らせることなく見守り活動を継続してきました。コロナ禍にあっても「新しい日常」のもとで、住民と行政・関係機関の架け橋として永年にわたり積み上げてきた経験を礎に、活動を継続するべく、創意工夫をしていく必要があります。

今、東京では、急速に進行する少子高齢化や単身世帯の増加、ライフスタイルの変容による家族形態の多様化などを背景に、人と人とのつながりの一層の希薄化が進んでいます。社会経済環境の変化に伴い、経済的困窮や社会的孤立、ひきこもりなどさまざまな課題も生じています。

都内の虐待相談件数は年々増加しており、死亡に至る痛ましい事例も発生しています。地域の人々が異変に気付き、声を掛け、子どもを守る社会を実現しなければなりません。

また、豪雨や台風・地震などの自然災害も相次いで発生しており、避難行動要支援者などの安否確認の支援について、地域が一体となって実効性のある体制づくりを進めることも重要な課題です。

このような状況を踏まえ、私たち民生委員・児童委員は人々が支え合う地域共生社会の実現に向け、より一層、地域住民に寄り添い、支援を必要とする人が孤立することのないよう、委員同士の協力や地域住民との協働などにより地域ぐるみの活動の充実を図っていきます。そして、住民一人ひとりの人権を尊重し、その信頼と期待に応えるべく自己研鑽に努め、地域福祉のさらなる推進に向け積極的に活動していく決意です。

そのため「東京版活動強化方策」の着実な実践に向けて、以下の重点課題を定め、その達成に向け全力を挙げて取り組むことを宣言します。

一、新型コロナウイルス感染拡大の影響下において、生活困窮やひきこもりなど住民の生活課題や福祉ニーズを見逃すことのないよう努め、住民の立場に立った支援を行います。

一、新しい生活様式のもとでさまざまな活動の工夫が求められる中、各委員が悩みや不安を抱え込むことなく適切に対応できるよう、チームで動く「班」を活用した委員同士の連携強化に取り組みます。

一、地域から信頼される民生委員児童委員協議会を目指し、住民一人ひとりに届くような普及・啓発活動に取り組むとともに、研修等を通じて自己研鑽に励み地域と共に成長できる組織づくりを進めます。

一、児童委員として虐待や子どもの貧困をはじめとするさまざまな課題に関心を持ち、その背景にある孤立の問題に目を向けながら、親や子ども一人ひとりの命を守るための支援を行います。

一、地震や風水害などの自然災害への備えはもとより、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりに向けて関係機関・団体と情報を共有し、地域ぐるみの支え合いの輪を広げます。

令和2年11月26日

第74回東京都民生委員・児童委員大会